

Table with columns for 事務事業名, コード, 課, 所属班, 電話番号, 内線, 基本方針, 施策, 施策の展開, 基本事業, 予算科目, 根拠法令, 会計, 款, 項, 目.

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

Table with 2 columns: ① 事業期間, ② 事業の内容. Includes checkboxes for 単年度繰返, 昭和 45 年度~, 期間限定複数年度, and detailed description of the employment support grant activities.

(2) トータルコスト

Table with 2 columns: ① 事業費の内訳 (24年度の実績), ② 延べ業務時間の内訳 (24年度の実績). Includes sub-tables for 1. 負担金補助及び交付金 and 補給金・起案・申請→申請受理→交付決定→交付確定 (10h).

Table with 5 columns: 費目内訳, 単位, 22年度(決算), 23年度(決算), 24年度(決算), 25年度(計画). Includes rows for 1. 負担金補助及び交付金, 事業費計(A), 正規職員従事人数, 延べ業務時間, 人件費計(B), and トータルコスト(A)+(B).

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

Table with 4 columns: 手段, 目的, 上位目的, 指標. Includes sub-tables for ① 主な活動, ② 対象(誰、何を対象にしているのか), ③ 意図(対象がどのような状態になるのか), ④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか, ⑤ 活動指標名, ⑥ 対象指標名, ⑦ 成果指標名(考え方), ⑧ 上位成果指標名(考え方).

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

Table with 3 columns: ① 開始したきっかけは何か? どんな経緯で始まったか?, ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか?, ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

事務事業名	労働諸費 雇用対策協議会補助金	課名	商工観光課	班名	労政工業班
-------	--------------------	----	-------	----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ この事務事業の目的は市の政策体系に結びつかずか？意図することが上位目的に結びついているか？	協議会での事業実施により1社では実施することができない事業も実施することができるのと同時に、企業の連携強化、就労環境の向上に繋がっている。就労環境の向上は従業員への雇用を安定させ、企業の連携は様々な情報を共有することができ、雇用創出のきっかけとなる。については旭市の産業発展に結びつく。
	② 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	旭市内の企業を対象としているので適切であると思われる。会員になっていない企業については、今後も募集を続けることにより、会員数の増加を図っていく。
	③ 行政関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	雇用の創出を図るとともに、雇用の安定は旭市の産業発展を図る上で重要であり、企業間の情報の交換の場から企業が行政に求める課題の把握が容易であり、新たな施策の発想へと向かうことができる。
	④ 成果の現状水準	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	企業の撤退等による退会等もあり会員企業数の減少もあるが、事業によっては参加人数が減ってきているものもある。これらの対策としては魅力ある協議会の行事等が必要。
	⑤ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】↷ 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？	活動事業の見直しや、実施時期を変更することにより、参加人数を増やすことが可能であると思われる。また、現在の目的は企業間の交流や福利厚生が主になっているので、魅力ある事業実施等を考えると同時に、中小企業等の会員について随時募集していく。
有効性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↳ (1) 事務事業名：() (2) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 連携ができる ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1) 具体的にどのような事務事業か？ (2) 類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	当協議会は独立した事業で類似事業も無いため、連携・統廃合は難しいと思われる。
	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	24年度に補助金額を1社当たり15,000円から13,500円と10%減額した。
効率性 評価	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	協議会の事務局は市職員が行っているが、事業当日の事務等を会員企業にも協力をいただいております、必要最小限の業務量であるため、削減余地がない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	一部の事業実施においては会社の都合等で参加できない企業もあるが、事業毎に各種の参加案内等を行い、事業参加の機会を平等に与えられている。なお、積極的に市内の未加入企業への協議会参加を募り、会員企業の確保を図る。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 震災復興を進める上で雇用の創出は極めて重要であり、企業間の連携等に行政が関与することは有効であると思われる。また、協議会の主たる事業の中に福利厚生等も含まれ、活動の支援は重要。企業は優秀な人材を求めており、市内企業の雇用創出は人口減対策の中で有効な施策であるが、市民への企業内容のPR等、更に地域貢献としての一般市民も開放した研修会等の開催を通じて、市内企業のPRを進め、雇用の確保を図る事が今後重要。
--	--

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) ※2~3年後を目処にした方向性 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による成果向上 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(関連事業：) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による事業費削減 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(2) 改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？ ① 会員以外も対象とした大規模な講演会を行い、雇用対策協議会を周知する。(平成25年度～) ② 過去の事業内容にとらわれない時代に即応した積極的な事業を実施する。(平成25年度～) ③ 更なる会員企業の増加の充実を目指すため、再度市内企業に会員募集の通知を出す。(平成25年度～) ④ 企業による地域貢献の観点からも事業を企画する。(平成25年度～)																						
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 ① 講演会の会場で企業ブース的なものを作り、各企業の事業内容を紹介すると共に、雇用対策協議会も周知する。 ② 参加率の低い事業は見直し、参加者の多いような事業を考える。 ③ 会員の募集をかけたところで、なかなか会員となってくれる企業はいないので、魅力ある事業を考え、入りたいと思わせるようにする。 ④ 国、県等の各種支援制度の積極的な情報の提供を行う。																						